

インド洋大津波

AMDA 理事長 あす現地入り



菅波茂 AMDA 理事長

インドネシア・スマト

ラ島沖で起きた巨大地震に伴う津波被害が周辺国に広がっているのを受け、国際医療ボランティアAMDA(岡山市櫛津)の菅波茂理事長が六日、既にインドで活動している多国籍医師団による医療体制の充実などを図るため、同国マニパルに向け出発する。(一面に

連記事

関西空港からタイ経由で七日午前に到着予定。

インド南部最大の医療拠点であるマニパル医科大で、医療・診療体制の規模拡大や、長期的な

復興計画などについて医療スタッフらと協議する。

これまでにAMDAはインド、インドネシア、スリランカに本部や各国支部から医師、看護師ら

計六十八人を派遣。外科手術を含む医療活動や感染症予防対策、緊急援助物資の配布などを行っている。インドでは二日から、タミルナドゥ州の被災地区で現地支部の医師らを含む九人が巡回診療を始めている。

AMDAは、心に傷を負った現地の子供たちに絵本を贈るキャンペーン

を五日始めた。募金も受け付けている。問い合わせは広報室(086-284-7730)。募金は郵便振替(01250-2-40709、口座名AMDA、通信欄に「環インド洋地震・津波」と記入)。